

## ②災害被災地への復旧支援事業

「令和5年7月の梅雨前線による大雨」により、被害の大きかった自治体に対して、8月17日に福岡県広川町、8月21日に福岡県久留米市へ寄附金目録の贈呈を行い、被災自治体の速やかな復旧・復興を支援しました。



広川町長へ目録贈呈 (R5.8.17)



久留米市長へ目録贈呈 (R5.8.21)

## ③防災ボランティア活動等支援事業

### 災害ボランティアへの支援

「令和5年 梅雨前線による大雨」に伴う災害ボランティア活動に対して、下記の4団体へ支援を行いました。

団体名(代表者名)/所在地	活動概要や活動時の感想など	活動地区と期間
①ネイチャーあぐり (樫本攻) 福岡県春日市	 熊本地震をはじめ、中国・四国地方、朝倉市と災害ボランティア活動を続けており、今回は久留米地区において、家屋周りの土砂の掻き出しと田畑の土砂の搬出を実施した。	久留米市・朝倉市 2023.8.1～11.3
②防災グ (平川文) 福岡県朝倉市	 朝倉市での災害経験があるため、行政・社協・コミュニティの連携が良好であり、今回の災害では、土砂撤去作業とともに、住民への寄り添いを重要視し、作業はできるだけ住民と共に、地域全体で協力し合いながら取り組んだ。	久留米市・朝倉市 2023.7.12.～10.31
③ロハス南阿蘇たすけあい (井手順二) 熊本県南阿蘇村	 災害発生時、必要とされる被災地域へおもむき、約800人の会員ネットワークにより、物資支援や生活再建への支援を行うとともに、平常時は、地域や子供食堂のお手伝いや年4回の環境問題への活動(海岸清掃)を行った。	うきは市・田主丸町、 唐津市等 2023.7.12～10.3
④宇佐市防災士会 (斉藤文博) 大分県宇佐市	 今回、宇佐市で崩落が発生したため、重機を利用して土砂撤去、碎石充填、土のうによる仮設的な施工を行った。人力で対処出来ない場所も多数あり、今後は重機作業や専門技術を持ったボランティア支援が必要と痛感した。	大分県宇佐市 2023.7.12～10.3

### まちなか防災2023への支援(NPO法人 白川流域リバーネットワーク)

熊本市中心街・下通アーケードにおいて、多くの来訪者等に対して、70年を迎えた「6.26 白川大水害」などの過去の洪水被害状況の写真や動画展示、白川の特性と防災・減災に向けたパネル展示、洪水ハザードマップ及び洪水VRを使用した居住地域・市街地の洪水リスク認識を高める活動等を通

じて、水害から自分や身近な人の命を守るための備えと早めの行動につながる水防災啓発活動を2日間実施しました。

■6月24日(土) 参加人数:725名

■6月25日(日) 参加人数:1,246名



6.26白川大水害 回廊式展示



防災メッセージの記入



熊本市ハザードマップ展示



水害の備え(RKKテレビ生中継中)



洪水VR体験コーナー



新市街側 浸水深表示とのぼり